

検査を実施するときの注意

1 検査は、自分自身を知るきっかけとなるものです。

【適性検査】…あなたが得意なこと、苦手なことを知るための検査です。

【興味検査】…あなたが興味・関心を持っている分野を知るための検査です。

【価値観検査】…あなたが何を重視するのかを知るための検査です。

検査結果から、あなた自身の傾向を見つけ、自分自身をより深く理解することを目的としています。

占いや心理ゲームのように「あなたの適職はこの仕事です！」と具体的な職種が決まる検査ではありませんのでご注意ください。

2 検査は、あなたの可能性を広げるために実施するものです。

検査の結果、思っていたような結果がでないことがあるかもしれませんが、高い点数が出た分野しか選んではいけない、低い点数が出た分野はあきらめなければならない、などということはありません。

どうしてそのような結果が出たのかを考えていき、得意な部分を活かしつつ、苦手な部分を補って希望の就職につなげることを目指していきます。

3 検査の結果は、その日の体調や精神状態に左右されることがあります。

極端な不安や落ち込みを感じている場合は、適切な判定ができないことがありますので、別の日に検査を延期することをお勧めします。

また、すべての点数が高くなったり、低くなったりすることがあります。

しかし、すべてが高く採点されたから何でもできる、すべてが低く採点されたから何もできないということではありません。

他の項目と比べて高く出た部分、低く出た部分を理解して、自己理解につなげましょう。

4 検査は、担当官の指示に従って進めてください。

担当官の指示に従って進める検査の場合は、指示したとおりに進めなければ正確な結果が得られないことがあります。

(しごとプラザ帯広)